

第 29 回 日本アルコール看護研究会
宮城大会のご案内

テ ー マ 「東北魂を感じて！情熱と教育」

日 程 : 2019年2月22日(金)～2月23日(土)

会 場 : ベルエア会館
仙台市青葉区一番町一丁目4番3号 (JR仙台駅 西口 徒歩12分)
TEL 022-217-8622 <http://www.bel-air.co.jp>

主 催 : 日本アルコール看護研究会

主 幹 : 東北アルコール看護研究会

参 加 費

事前申し込み : 5,000円

当日申し込み : 6,000円 (両日参加)

1日のみ参加 : 3,000円

懇親会費 : 7,000円

後 援 : 宮城県、仙台市
日本精神科病院協会宮城県支部、日本精神科看護協会宮城県支部
宮城県看護協会、宮城県アディクション問題研究会
非特定営利活動法人アスク、アルコール薬物問題全国市民協会、

第 29 回 日本アルコール看護研究会

宮城大会 開催にあたって

大会長：富永 香子（医療法人東北会 東北会病院 アルコール病棟 課長）

この度、第 29 回日本アルコール看護研究会 宮城大会を 8 年ぶりに仙台で開催することとなりました。前回の宮城大会は東日本大震災の 1 ヶ月前に開催され、まもなく 8 年が経過いたします。震災後から、鎮魂と復興を願い東北 6 県の代表的な夏祭りが集う東北六魂祭（2017～東北絆まつり）が行なわれています。

当院は震災後、沿岸地域を中心に約 800 件の被災地支援を通し、アルコール依存症という病気の啓蒙活動、一次予防から三次予防の教育、支援者向けの研修・教育、ネットワーク調整、事例検討を行ってまいりました。支援の実態も年を追うごとに変化しつつあります。被災地支援の関わりの中で、保健医療関係者がアルコール問題を疑われる当事者を地域から医療へ結びつける困難さ、家族支援の必要性、地域社会の偏見を目の当たりにし、アルコール依存症に関わっている我々が力を付け「魂・情熱」をもって継続支援していく必要性を痛感いたしました。

今回 宮城大会を開催するに当たり、長らく停滞していた東北アルコール看護研究会が再始動しました。東北 6 県のアルコール看護の現状を振り返ったとき「語り合いたい」という熱意と次世代に繋げるための教育が必要だと感じ、大会のテーマを「東北魂を感じて！ 情熱と教育」といたしました。

アルコール看護への情熱を持ち続けたいと思いつつも日々の看護実践の中で難事例に直面することが多く挫折しそうになります。悩みを仲間と分かち合い、再びアルコール看護に向き合っていくことの繰り返しです。看護師としては経験年数があっても、アルコール看護は初心者の方も多いのではないでしょうか。次世代へつなげ、繋ぐこと、アルコール看護のテクニック、リーダー育成も大切な課題なのではないかと思えます。

基調講演は、東邦大学看護学部精神看護学研究室 伊藤桂子教授に「アルコール看護教育」をテーマにお願いしております。プログラムとして、情熱を持ち続けるのは大変です。悩みを言葉にするディスカッションの場、悩める人が集える事例検討、次世代のリーダーを育成するための教育を考えるシンポジウムを企画しております。

最後に、全国より多数の参加を頂き、今大会を盛り上げてくださいますようお願い申し上げます。皆様方のご参加をこころよりお待ちしております。

スケジュール

2019年2月22日（金）

12：30 ～ 受付

13：00 ～ 13：30 開会式 ・ 総会

13：45 ～ 15：30 基調講演

「アルコール看護教育」

東邦大学看護学部 精神看護学研究室

教授 伊藤 桂子 先生

15：40 ～ 17：00 認定看護師企画

<会場> ベルエア会館 5F 501 会議室

15：40 ～ 17：00 ポスターセッション

<会場> ベルエア会館 4F 402 会議室

18：00 ～ 20：00 懇親会

<会場> ホテルモントレ仙台

仙台市青葉区中央4丁目1番8号 （JR仙台駅 西口 徒歩3分）

TEL 022-265-7110 <http://www.hotelmonterey.co.jp/>

2月23日（土）

9：30 ～ 受付

10：00 ～ 11：30 シンポジウム

「次世代を育成するための教育を考える」

11：40 ～ 閉会式

<会場> ベルエア会館 5F 501 会議室

10：00 ～ 11：30 事例検討

<会場> ベルエア会館 4F 402 会議室